

2019年1月期 11月度 月次業績動向(単体)(2018年10月21日～2018年11月20日)
会社名 ピープル株式会社

(https://www.people-kk.co.jp/)

代表者名 取締役兼代表執行役 小暮雅子

上場取引所: 東証JASDAQ

コード: 7865

TEL: 03-3862-2768

問合せ先: IR担当 飛田留美子

(単体業績)

科目	月次の対比(単体)			期初からの累積の対比(単体)			過去12ヶ月累積期間の対比(単体)注)		
	2018年1月期 11月度	2019年1月期 11月度	前年 同月比	17/1/21～ 17/10/20	2018/1/21～ 2018/11/20	注)前年 同期間比	16/11/21～ 17/11/20	2017/11/21～ 2018/11/20	前年 同期間比
売上高	498,401	586,425	117.7%	3,522,053	3,464,248	98.4%	4,207,071	4,205,662	100.0%
営業利益	注) 86,843	158,690	182.7%	注) 368,092	405,480	110.2%	443,389	509,208	114.8%
経常利益	99,567	168,704	169.4%	369,748	407,009	110.1%	464,274	495,335	106.7%
税引前利益	99,861	168,704	168.9%	370,042	407,009	110.0%	452,780	451,784	99.8%
流動資産	2,265,968	2,432,745	107.4%	注)単体業績における対前年同期間比につきましては、前41期末に一括計上した米国子会社株式の減損を四半期毎に平均化して補正し、比較しております。					
固定資産	226,616	200,129	88.3%						
流動負債	428,314	538,789	125.8%						
固定負債	-	-	-						
純資産	2,064,269	2,094,084	101.4%						
総資産	2,492,584	2,632,874	105.6%						

上記表の実績数値につきましては、親会社単体の業績動向を前期比較にて表示しております。*2019年1月期第3四半期累計期間では、短信開示資料に添って連結業績予想を掲載しております。

*** 2019年1月期通期 連結 業績予想**

(2018年12月3日発表)

- ・売上高: 41億51百万円
- ・営業利益: 4億21百万円
- ・経常利益: 4億10百万円
- ・親会社株主に帰属する四半期純利益: 2億72百万円

商品別売上高

商品カテゴリー名	月次の対比(単体)			期初からの累積(連結)		過去12ヶ月累積期間の対比(単体)		
	2018年1月期 11月度	2019年1月期 11月度	2019年1月期 11月度	2018/1/21～ 2018/11/20	当期間 構成比	16/11/21～ 17/11/20	2017/11/21～ 2018/11/20	当期間 構成比
乳児・知育玩具	149,773	169,429	169,429	1,101,714	31.8%	1,368,427	1,419,693	33.8%
女兒玩具	81,896	95,026	95,026	371,959	10.7%	683,096	490,973	11.7%
遊具・乗り物	83,803	57,776	57,776	415,236	12.0%	524,393	483,523	11.5%
海外販売、その他	182,931	264,194	263,223	1,578,597	45.5%	1,631,155	1,811,473	43.0%
合計	498,401	586,425	585,454	3,467,506	100.0%	4,207,071	4,205,662	100.0%

11月度新発売およびリニューアル商品

当月はありません。

当11月度は、国内外で前年同月を上回る年末需要に向けた出荷となり、連結売上高は5億85百万円となりました。(月次の前年同月比は単体実績をご参考下さい。)

当11月度は前月まで鈍い動きだった国内の玩具部門において、流通の計画予算に添った出荷(仮需要)が大きく動き出しました。乳児・知育玩具カテゴリーでは“ピタゴラスシリーズ”等の高額品が、女兒玩具カテゴリーでは低迷している“人形シリーズ”までも単月で前年を超えて当月の売上に影響しました。実需要は、玩具市場全般に12月21日以降(当社の1月度)まで不透明な状況が続いています。一方、育児用品に関しては実需要として「Bebe Pocket」や「テディハグ」等が好調に推移しています。また自転車では、10月度に集中発売出荷があったため当11月度では前年同月を下回っているものの、新製品「ケッターサイクル」は好調で当月で欠品し次月の入荷待ちとなっています。

海外販売では、当11月度で3カ月連続2億円以上の出荷となり、前半の前年割れを補い海外部門の当期累積売上高は前年を超え始めました。